

再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容の公表資料

■導入した設備の概要

【太陽電池モジュール】

メーカー名	ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社
型式名	NER108M415B-MD
1枚あたりの公称最大出力	415.0W
使用枚数	50枚
公称最大出力合計	20.75kW

【パワーコンディショナ】

メーカー名	オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
型式名	KPW-A55-2PJ4
1枚あたりの定格出力	5.5kW
台数	1台
定格出力合計	5.50kW
メーカー名	オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
型式名	KPBP-B
1枚あたりの定格出力	5.90kW
台数	2台
定格出力合計	11.80kW

【蓄電池】

製造者名（メーカー名）	オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
型式名	KP-BU98B-S
1台あたりの定格容量	9.8kWh
台数	2台
定格容量合計	19.60kWh

■導入場所

安立運輸株式会社 倉庫（東京都荒川区東日暮里2丁目2712番地）

■導入目的

安立運輸株式会社では太陽光システム発電設備を導入。停電時に必要な電力を確保し、事業を継続することが可能になる。  
また、平常時の温室効果ガスの排出抑制や電力系統への負荷軽減を図る。

■その他の事業者の再エネ設備導入の参考になる情報

【想定電力消費量と想定発電電力量】

- ・年間想定電力消費量： 68,775kWh/年
- ・年間想定発電電力量： 22,818kWh/年
- ・「年間想定電力消費量」に対する「年間想定発電電力量」の比率：33.2%

【温室効果ガス排出抑制効果】

・太陽電池を利用して、日光を直接的に電力に変換する。発電そのものには燃料が不要で、運転中は温室効果ガスを排出しない。  
非常に少ない排出量で電力を供給する。

【副次効果】

- ・環境問題への社会的な貢献につながる。
- ・メンテナンス等にかかる手間が比較的少ない。
- ・断熱効果：夏は屋根への直射日光を遮ってより涼しく、冬は外部への放熱を抑えてより暖かくなる。

■省エネルギー対策の取組内容

- ・室内環境の測定管理
- ・照明設備のLEDへの更新
- ・換気扇の活用